

# 農協出資法人による農業経営

会津よつば農協(福島県)

## 取組の概要

- 各集落の話し合いで決めた担い手組織(農協出資法人)に対して、農協と行政が一体となり支援
- 農家は、農協出資法人に農作業を一部委託することで労働力が軽減され、軽減された労働力を収益性の高い農産物の生産に振り分け、所得向上を図る

## 事業化(プロジェクト化)成功のポイント

### 1 全員参加による話し合いを通じて、今後の集落の担い手を決定

- ① 高齢化や担い手不足等の集落の現状と問題を全員で共有し、どうするのかを常に話し合える場をコーディネート。農地、水利問題の調整や今後の担い手等、将来の「集落(営農)ビジョン」を策定
- ② 策定されたビジョンに基づき、今後を託された担い手組織が集落内の引き受け手のいない農地等を活用し農業生産(中山間地域では農協出資法人が地域の担い手として地域農業を維持)。

### 2 農協、県、町村が一体となった支援

- ① 農協は各支店に担当(農協の職員40名、OB9名)を配置し、県(普及所)、町村と一体となり、集落の問題の掘り起こしや問題克服の支援、農業所得向上の提案等を実施
- ② 平成22年に農協に農業経営支援対策室を新設し、関係機関と連携して、担い手組織への経営指導等を実施

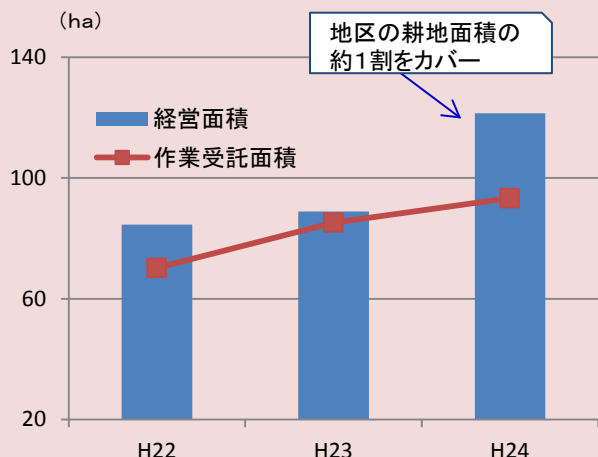
### 3 農協出資法人の経営安定化の取組及び地域振興

- ① 農協出資法人が水田の農業経営、農作業の受託をすることで労働力が軽減された農家は、収益性が高い「かすみ草」の栽培に取り組むことで、所得が向上
- ② 「奥会津金山赤カボチャ」等の特産品の生産・加工の強化を通じて付加価値を向上。生産のできない冬期に加工作業、学校給食事業の受託で経営安定と通年雇用を確保  
→ 法人の販売高が大幅に向上し、経営が安定

## 農協のメリット・農家のメリット

### <農協出資法人による農業経営・作業受託面積>

- 農業経営面積、農作業受託面積が一貫して上昇  
→ 耕作放棄地の拡大を防ぐ



(注) 農協出資法人の(有)グリーンファーム、(株)奥会津金山大自然、アグリサポート柳津(H24設立)の合計面積

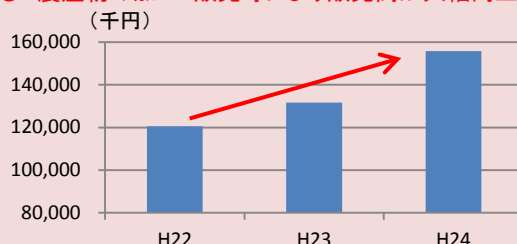
### <耕作放棄地の面積>

	H17	H22	差
昭和村(グリーンファーム所在地)	87	81	▲7%
金山町(奥会津金山大自然所在地)	125	114	▲9%
福島県全体	21,708	22,394	+3%

(注) 数字は農林水産省「農林業センサス」より

### <農協出資法人の販売高の推移>

- 農産物の加工・販売等により販売高が大幅向上



(注) 農協出資法人の(有)グリーンファーム、(株)奥会津金山大自然、アグリサポート柳津(H24設立)の合計金額